

死亡届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	發送 令和 年 月 日 第 号					
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

字訂正
字加入
字削除

(1) (よみかた)

(2) 氏 名 氏 名 □男 □女

(3) 生 年 月 日 年 月 日 午前 時 分 午後 時 分

(4) 死亡したとき 令和 年 月 日 午前 時 分 午後 時 分

(5) 死亡したところ 番地 番号

(6) 住 所 世帯主の氏名

(7) 本 籍 番地 番号 筆頭者の氏名

(8) 死亡した人の夫または妻 いる (満 歳) いない (未婚 死別 離別)

(9) 死亡したときの世帯のおもな仕事と

(10) 死亡した人の職業・産業

(11) その他

届 出 人

事件簿番号

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。死亡者の本籍地でない役場に出すときは、2通出してください(札幌市内に提出する場合は、1通で結構です)。2通の場合でも、死亡診断書は、原本1通と写し1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

日中連絡のとれるところ

電話 ()

自宅 勤務先 呼出 (方)

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名 1男 2女 生年月日 大正 平成 年 月 日 昭和 令和 年 月 日

死亡したとき 令和 年 月 日 午前・午後 時 分

(12) 死亡したところ 死亡したところ 番地 番号

(13) 及びその種別 (死亡したところの種別1~5) 施設の名称

(14) 死亡の原因

(15) 死 因 の 種 類

(16) 外 因 死 の 追 加 事 項

(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項

(18) その他特に付言すべきことから

(19) 上記のとおり診断(検案)する

記入の注意

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例：急性)、病位(例：胃噴門部がん)、性状(例：病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の中」中」と書いてください。産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に關係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういいう状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。母子健康手帳等を参考に書いてください。